

沖縄県眼科医会  
令和5年度10月理事会

令和5年10月25日

PM7:30

ちねん眼科会議室

出席者 知念 靖、友寄 一、安里 良、新垣 淑邦、江夏 亮、大見謝 恒人、城間 弘喜、  
長嶺 紀良、外間 英之、山内 遵秀  
計10名参加で理事会は成立。

報告事項

1. 令和5年度公衆衛生委員会要約・・・長嶺理事

令和5年10月22日(日)

10:00～12:00

WEB 開催 (Zoom)

1) 令和4年度事業報告

1. 「ホーム転落をなくす会」転落防止啓発ポスターについて

可能な限り全都道府県でポスターによる啓発を行って欲しい

2. 「クイック・ロービジョンケアハンドブック」について

400名受講された。また、日本眼科学会の専門医制度の講習会でも869名受講された。

3. 「大規模災害シミュレーション」について

令和4年11月26日2回目の大規模災害シミュレーションが高知県で行われた。行政が主体となり全県をあげての災害対応マニュアルが出来上がっていたので、南海トラフ地震による大規模災害で、県人口の約半数の30万人の避難者を想定してシミュレーションを行った。

2) 令和5年度事業計画

1. 日本眼科啓発会議「アイフレイル」事業について

次のACジャパンがアイフレイルに決まった。学会や研究発表でアイフレイルに関することが増えてきている。

2. 「緑内障連絡カード啓発各種ツール」について

新しい「緑内障連絡カード」と啓発動画「緑内障と使ってはいけない100以上のくすり」を完成させた。日本眼科医会ホームページに9月から掲載されている。

3. 「クイック・ロービジョンケア各種事業」について

クイック・ロービジョンケアのeラーニングを皆様受講してほしい。

4. 「大規模災害シミュレーション」について

持ち回りで各ブロックから1県ずつシミュレーションを行う予定。2024年は鹿児島県での予定。

5. 「ぼうさいこくたい2023」について

2023年9月17日～18日に横浜国立大学で開催されビジョンバンを展示し約1200名見学に来た。

6. JR 東日本「声かけ・サポート運動」について

視覚障害者の電車のホームからの転落が問題となっており、JR 東日本「声かけ・サポート運動」に日本眼科医会が協力することになった。

7. 「国交省・眼科検診普及のためのモデル事業」について

事業用自動車運転者（トラック、バス、タクシーなど）の緑内障などによる視野障害による事故を防止するために令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月まで約 1700 名の保険適用外の一時検診が行われる。専用フォーマットを患者自身が持参するので、視力、眼圧、無散瞳での眼底検査 を行い税込み 6050 円で請求する。

2. 目の愛護デーについて・・・江夏理事

例年通り実施しました。新聞広告協賛いただいた先生方に請求書を FAX しましたので、お振込みよろしくお願ひします。

3. 琉大眼科オンコール体制・・・山内理事

長年琉大では、365 日各診療科の当直医を配置しておりましたが、働き方改革の一環で可能な診療科はオンコール体制にすることになりました。全ての診療がオンコール体制になるわけではありませんが、眼科が先行して下記の日程でオンコールを開始します。

大学のオンコール体制に移行したあとの連絡方法です。

平日（月～金）8：30～17：15

→眼科日直医へ連絡 # 電話交換に「眼科日直医をお願いします」と伝えて下さい。

土日、平日時間外

→救急へ連絡

眼科オンコール開始：11月1日

4. 視覚障害の身障認定と補装具費支給に係る眼科医の意識調査について・・・知念会長

日本眼科医会からのお願いです。

視覚障害の身体障害認定基準に関して、いくつかの不不合理があり、その解消にむけて厚生労働省と相談を続け、日本ロービジョン学会、日本眼科学会と共同のアンケート調査を実施する運びとなりました。こちらは、倫理承認も得た公式な調査です。

視覚障害者政策に反映させるために、できるだけ多くの眼科医の意見を集める必要があります。

是非ともよろしくお願ひいたします。

（別紙参照）

## 協議事項

### 1. 琉大眼科・・・山内理事

琉大眼科古泉教授からの依頼のメールです。

清秋の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から琉球大学眼科が大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

この度、琉球大学眼科へのご寄付をお願いしたく、お手紙を書かせて頂いております。既にご存じの通り、琉球大学は2025年1月に医学部・病院の完全移転を控えており、老朽化した備品の更新、新規必要備品の購入に多額の出資を見込んでおります。

今後も沖縄の地域医療と未来の眼科学の発展に還元すべく全力で邁進致しますので、甚だ失礼なお願いかと存じますが、趣旨を是非ともご理解頂き、可能な範囲で、2024年度における予算措置をお願いできますと大変有難く存じます。

教室を代表して伏してお願い申し上げます。

協議の結果：まず大まかな予算を調べて頂き再度理事会にかけ、4月の定期総会に図ることになった。

### 2. アイバンク眼球摘出について・・・知念会長

現在角膜提供の患者さんの摘出を2カ所の施設で行っておりますが、負担が大きく手伝っていただける施設を募っております。これは沖縄県全体で考える必要があると思います。ちなみに片眼摘出は3万円、両眼摘出なら6万円の報酬があります。

協議の結果：それぞれの施設で話し合ってもらおうこととした。

文責 知念 靖 (ちねん眼科) TEL 875-1010 FAX 875-1032

# 視覚障害の身障認定と補装具費支給に係る眼科医の意識調査

厚生労働省から、視覚障害の身体障害認定基準に関する二つの課題について、できるだけ多くの眼科医の意見を求められています。

1. 視力障害認定における矯正視力の考え方  
(どのような方法で矯正した視力をもって等級を判定するか)
2. 視野障害の場合、視力障害がなければ、原則、矯正用の眼鏡を補装具として認められない

ロービジョンの患者さんたちが最善の福祉サービスを利用できる環境を整備するために、是非ともアンケートにご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人日本眼科医会 会長 白根 雅子

対象： 日本眼科医会会員の眼科医であればどなたでも

回答方法： Googleフォームへの無記名回答  
※ 下記の二次元バーコードあるいはURLからアクセスをお願いいたします。

回答期間： 2023年10月15日（日）～2023年11月30日（木）

回答時間： 5分程度

二次元バーコード



URL

<https://onl.tw/t2ATzBL>